

甲斐市立竜王西小学校 自己評価書

令和2年 1月20日 (月) 作成

校長 「 興水 政仁 」 記述者 職名 (教頭) 「 丹沢 貴浩 」

学校教育目標「自ら学び、自ら考え、進んで行動する、心豊かでたくましい児童の育成 」

学校経営方針

「21世紀を担う人間性豊かで、社会の変化に対応できる生きる力の育成」をめざし、学校教育の充実に努める

- (1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた教育活動を推進する。
- (2) わかる、楽しい授業づくりをめざす。
- (3) 全職員の共同体制「チーム竜西小」の教育活動を推進する。
- (4) 家庭・地域と信頼し合い、安全で安心な開かれた学校づくりに努める。

1 全体評価

○教職員アンケートからは、学教教育目標の具現化に向けて、やるべき教育活動を、まじめに一生懸命に、「チーム竜王西小」として行っている。○児童アンケートからは、全体的に肯定的な回答が多く、学校生活を楽しく有意義に過ごしている様子がわかる。特に、先生がよく勉強を教えてくださいと答えた児童は99%であることからわかる。○保護者アンケートからは、自分の子どもが、楽しく学校生活を送っていると思っていることや生活習慣にも関心が高く指導している様子がわかる。○創甲斐教育の数値目標については、「将来の夢や希望を持っている」差-3%、「国語の授業がわかる」差-2%、「算数の授業がわかる」差-3%、「家庭学習の取り組み」差-1%、「朝食の摂取」差-2%、「思いやりの心」差-2%「読書への取り組み」差-9%、で若干下回った。「規範意識の状況」差+1%、「不登校児童生徒の割合」は、本校は0%、「いじめ解消率」100%であり達成した。今後も数値目標を達成することを視野に入れながら、組織的な教育活動を推進していきたい。

2 項目ごとの評価結果 (達成状況・改善策)

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況 肯定的な評価が100%である。全職員が学校教育目標や重点目標を踏まえ一生懸命に教育活動を行った。職員会議や各種担当者会議等を短時間で共通理解を図りより効果的な取組を実践できた。課題としては、PDCAサイクルを生かした教育活動をもっとしっかりと行うことである。

改善策 活動後すぐに振り返り、短期間でPDCAサイクルを回すことが大事である。人事評価制度を利用し、キャリアステージのあるべき姿を目標に日々学び続けることや教員同士の連携・協力体制を一層機能させ、教育活動計画の推進を図っていく。教員が授業や授業準備等に集中し、教育の質を高められる環境を構築するため働き方改革を尚一層推進していく。

II 学校運営について (保護者用アンケート等も含めて)

達成状況 肯定的評価が多く、「個人情報保護・情報セキュリティ」「報告・連絡・相談」に関しては特に高い。研究主任を中心に、道徳科・外国語科への対応が組織的に研究を進めることができた。しかし課題は、職員自身がかつて校内研究に主体的に関わることであり、保護者用アンケートからも、学校との連携・協力について肯定的である。

改善策 安全管理や危機管理については、子供の命にかかわる最重要事項であることを、今まで以上に日々の活動の中で指導し、適切で迅速な対応ができるように研修会を充実させる。校内研究については、研究主任を中心に組織的な研究の継続を行う。お互いの学び合いを積極的に行い一人一実践の質を高めて授業力の向上を図る。

Ⅲ 学習指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	学習指導全般で、意欲的な教育活動が推進されている。「ICTの活用等を進め授業改善を図る」が課題となった。児童用・保護者用アンケートからも「授業がわかりやすく、よく教えてくれる」という高い評価である。保護者は、自主学習や読書活動をもっと充実させたいという願いがある。
改善策	ICTを活用して学習指導をすることは、児童に対して学力向上に高い効果があることが明らかであることを周知し、ICTの活用について校内で研修を行う。自主学習は、来年度も毎月のはじめの8日間を家庭学習強化週間として保護者との連携・協力を進める。読書活動は、朝読書や読み聞かせ活動、家庭との連携した読書の取組を進める。
Ⅳ 生徒指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	「規範意識の状況」は、創甲斐教育の数値を上回った。不登校児童は、0%である。いじめは、積極的な認知と100%の解消率を目指し、定期的な調査や日頃の様子を注意深く見た結果、目標を達成した。日頃からのきめ細かな指導や保護者との連携がうまく機能した結果だと評価できる。
改善策	引き続き組織的対応を行い、保護者・スクールカウンセラー・外部関係機関との一層の連携を進める。学習習慣や生活習慣（朝食の欠食など）が身につけていない児童には、保護者の一層の理解を得られるように努め、個々の家庭と連絡を取ることをバランス良く行って、習慣化を図る。「甲斐っ子の宝」（心をそろえる整理整頓、心を磨く清掃活動、心を伝えるさわやかなあいさつ）の取組を継続していくことで、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。
Ⅴ 地域との連携について	
達成状況	いきいき人材の活用、読み聞かせボランティア、外部講師の招聘など、地域の教育力を生かす取組を積極的に進めてきた。また、PTA作業、運動会への保護者の協力も得ているところである。HPや学校開放日をはじめ積極的に学校の様子を地域へ発信した。これらに限らず、地域の方々から本校の教育に多大な協力をいただいている。
改善策	学校開放日・HP・各種通信を充実させ、保護者、学校評議員や学校応援団の方・地域の方などへ学校で何が行われていて、どんな状況なのか情報発信を積極的に行うことや、様々な場面を利用して、地域の意見や願いを聞くことを大切にする。
Ⅵ 学校の特色に関して	
達成状況	「あいさつ」は、児童会であいさつ運動に取り組み、家庭でもよく指導をしている結果、学校内だけでなく地域の人とのあいさつもよくできるようになった。授業参観や学校開放日・PTA活動を通じて根気強い取組を続けていきたい。地域の協力を得て体験活動も充実している。
3 まとめ	
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は、肯定的な結果となり概ね良い状態だと考えられる。保護者や地域の方々のご協力、市教委のご支援のおかげと感謝している。引き続き、「チーム竜王西小」として、組織的な教育活動を行っていきたい。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの回答に見られた、否定的な評価をしている児童の存在には十分留意し、保護者・地域・関係機関との一層の連携を図りながら、個別の指導・支援を行っていく。望ましい基本的な生活習慣の定着を図り、学校教育目標の達成をめざして保護者・地域の方々と共に手を携え、今後とも地道な努力を重ねていきたい。 	